

岡山県感染症週報 2026年第12週 (3月16日～3月22日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』を発令中です

◆2026年 第12週 (3/16～3/22) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況 (第12週届出分)

| | | | |
|------|-------|--------------------|---------------------------|
| 第11週 | 5類感染症 | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 1名 (70代 男) |
| | | 梅毒 | 1名 (40代 男) |
| 第12週 | 2類感染症 | 結核 | 3名 (中学生 女1、40代 男1、70代 女1) |
| | 5類感染症 | 急性脳炎 | 1名 (20代 男) |
| | | 梅毒 | 2名 (50代 男1、60代 男1) |
| | | 百日咳 | 1名 (20代 女) |

効果的な場面でのマスク着用!



© 岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：ARI 定点 50、小児科定点 28、眼科定点 12、STD 定点 18、基幹定点 5

- インフルエンザは、県全体で 503 名 (定点あたり 10.06 人) の報告がありました。
- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 28 名 (定点あたり 0.56 人) の報告がありました。
- 急性呼吸器感染症 (ARI) は、県全体で 2,613 名 (定点あたり 52.26 人) の報告がありました。

【第13週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O血清群不明：20代 女) の発生がありました。

1. [インフルエンザ](#)は、県全体で 503 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 12.42 → 10.06 人)。岡山県は 11 月 28 日に『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、広く注意を呼びかけています。詳しくは、『[インフルエンザ週報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[2025/26年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ警報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で 28 名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 0.60 → 0.56 人)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報](#)』をご覧ください。
3. [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#) は、県全体で 2,613 名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 55.24 → 52.26 人)。詳しくは、『[★急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報](#)』をご覧ください。
4. [梅毒](#)は、2026 年第 12 週に 2 名の報告があり、2026 年の累計報告数は 38 名となりました (2025 年の同時期：52 名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[梅毒について](#)』をご覧ください。
5. [感染性胃腸炎](#)は、県全体で 198 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 8.96 → 7.07 人)。地域別では、美作地域 (9.67 人)、岡山市 (9.60 人)、備北地域 (9.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。岡山県は『[食中毒\(ノロウイルス\)注意報](#)』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。県内の発生状況など、詳しくは『[感染性胃腸炎週報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ『[2025/26年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

流行の推移

| 疾病名 | 定点あたり報告数 | | 推移 | 疾病名 | 定点あたり報告数 | | 推移 |
|---------------|----------|-------|----|----------------|----------|------|----|
| | 前週 | 今週 | | | 前週 | 今週 | |
| インフルエンザ | 12.42 | 10.06 | ↓ | 突発性発しん | 0.07 | 0.43 | ↑ |
| COVID-19 | 0.60 | 0.56 | → | ヘルパンギーナ | 0.00 | 0.00 | → |
| 急性呼吸器感染症(ARI) | 55.24 | 52.26 | → | 流行性耳下腺炎 | 0.00 | 0.00 | → |
| RSウイルス感染症 | 0.96 | 1.07 | ↑ | 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | → |
| 咽頭結膜熱 | 0.11 | 0.07 | ↓ | 流行性角結膜炎 | 0.00 | 0.17 | ↑ |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 1.46 | 2.18 | ↑ | 細菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.00 | → |
| 感染性胃腸炎 | 8.96 | 7.07 | ↓ | 無菌性髄膜炎 | 0.20 | 0.00 | ↓ |
| 水痘 | 0.32 | 0.11 | ↓ | マイコプラズマ肺炎 | 0.60 | 0.60 | → |
| 手足口病 | 0.57 | 0.32 | ↓ | クラミジア肺炎 | 0.00 | 0.00 | → |
| 伝染性紅斑 | 0.36 | 0.25 | ↓ | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0.00 | 0.40 | ↑ |

【記号の説明】 前週からの推移

↑ : 増加

→ : ほぼ増減なし

↓ : 減少

増加・減少 : 前週比10%以上の増減

春休みに海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に存在しない感染症が多くあります。
渡航先の感染症に対する予防対策が必要です。

出発前の注意

- ・感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。
- ・渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
- ・これまで受けた予防接種について確認し、予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダや生乳など、火が通っていないものを飲食することは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、こまめに虫よけ剤を使用するなど蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。
(狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。)
- ・帰宅後は、しっかり手洗いをしましょう。



©岡山県「ももっち・うらっち」

帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

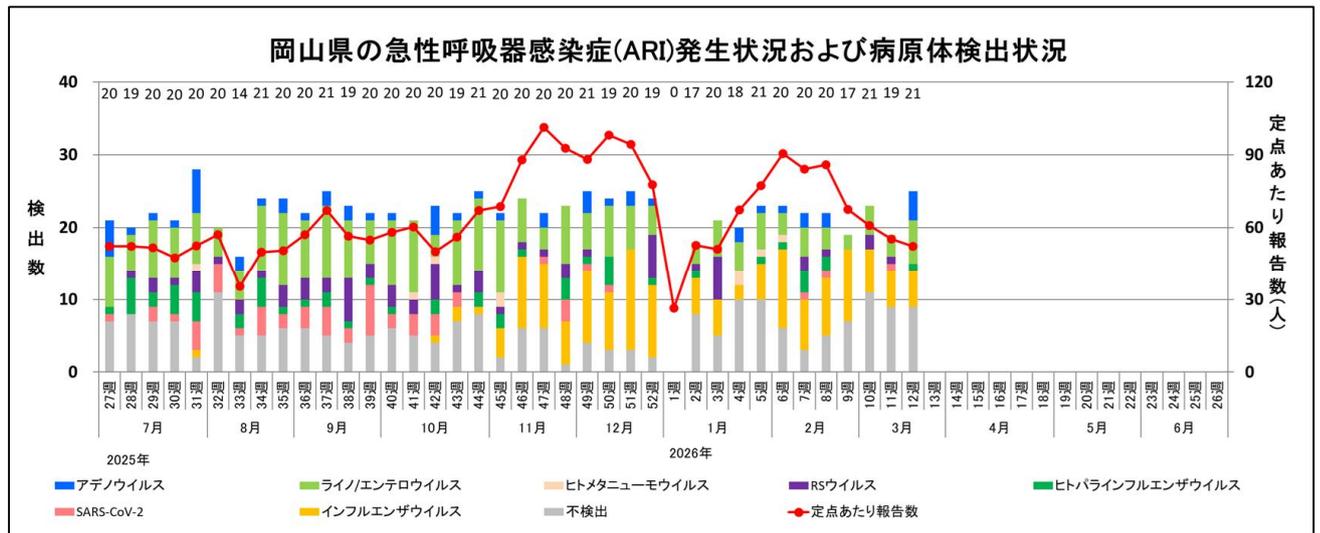
[海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）](#)

[海外渡航者向け 啓発ツール（厚生労働省）](#)

[海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 FORTH）](#)

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第12週（3/16～3/22））



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。

※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。

※グラフ上部の数字は検体数を示しています。

※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50 医療機関（内科定点 22、小児科定点 28）

※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5 医療機関（内科定点 2、小児科定点 3）

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で2,613名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり55.24 → 52.26人）。地域別では、備中地域（83.00人）、岡山市（60.44人）、備前地域（55.25人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

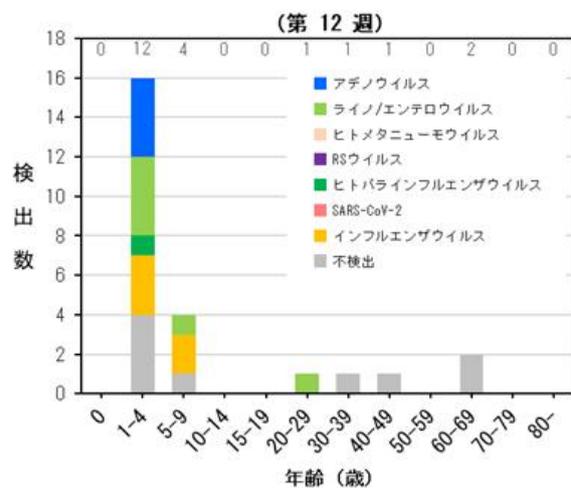
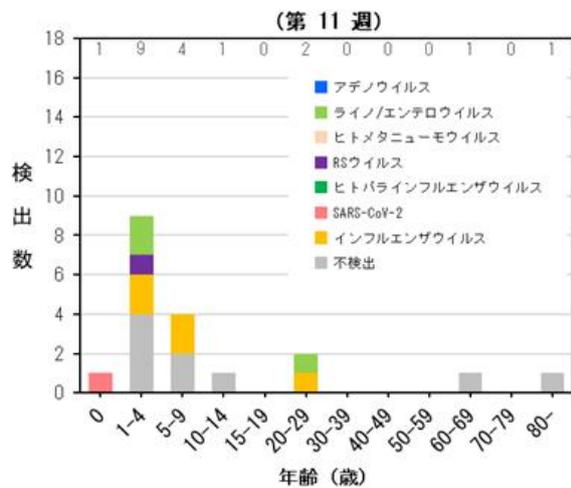
2026年第11週および第12週に採取された検体から検出された病原体は26株でした（詳細は下表参照）。

【第11週および第12週 岡山県環境保健センターにおける病原体検出状況】

| | 第11週 | 第12週 | 計* |
|-----------------|-------|-------|--------|
| 検体数（うち不検出数） | 19(9) | 21(9) | 40(18) |
| インフルエンザウイルス | 5 | 5 | 10 |
| SARS-CoV-2 | 1 | 0 | 1 |
| ヒトパラインフルエンザウイルス | 0 | 1 | 1 |
| RSウイルス | 1 | 0 | 1 |
| ヒトメタニューモウイルス | 0 | 0 | 0 |
| ライノ/エンテロウイルス | 3 | 6 | 9 |
| アデノウイルス | 0 | 4 | 4 |
| 計 | 10 | 16 | 26 |

* 重複あり

○年齢別病原体検出状況



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。

※1 検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。

※グラフ上部の数字は各年齢別の検体数を示しています。

※急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体定点医療機関数：5 医療機関 (内科定点 2、小児科定点 3)

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析 \(岡山県感染症情報センター\)](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について \(国立健康危機管理研究機構\)](#)

インフルエンザ週報 2026年 第12週 (3月16日～3月22日)

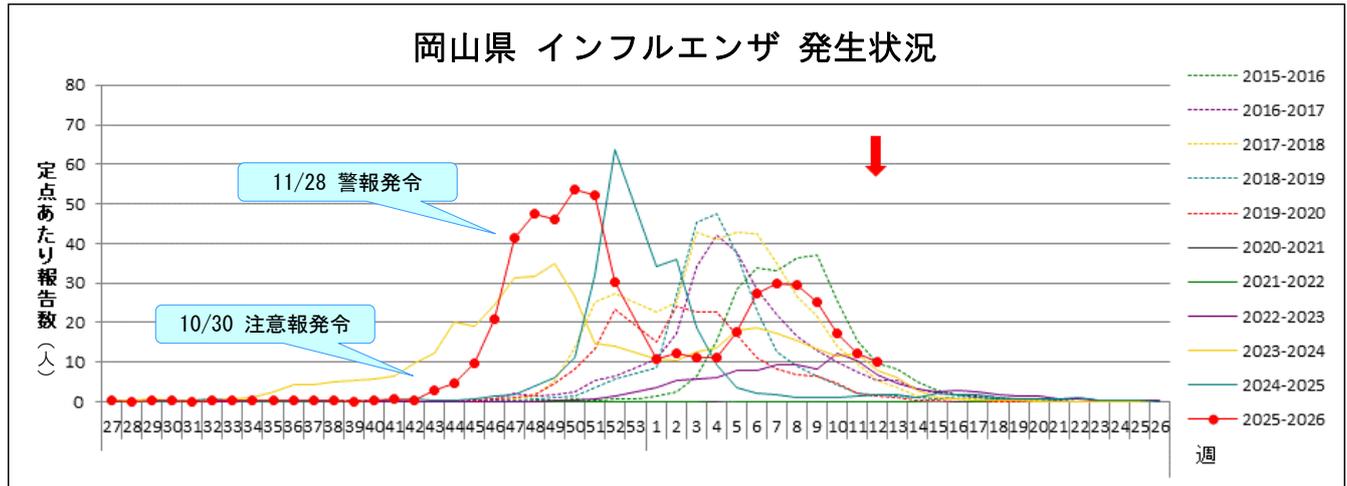
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で503名（定点あたり10.06人）の報告がありました（50定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が10施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。

【第13週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました（3月23日～25日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点（84医療機関）からARI定点（50医療機関）になりました。

インフルエンザは、県全体で503名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり12.42 → 10.06人）。岡山県は11月28日に『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市（13.08人）、真庭地域（13.00人）、備前地域（10.75人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆
～A型に感染してもB型に感染することがあります～

【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事

【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
- ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
- ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

| 地域名 | 発生状況 (人) | | 推移 | 地域名 | 発生状況 (人) | | 推移 |
|-------|----------|-------|----|-----|----------|-------|----|
| 岡山県全体 | 患者数 | 503 | ↑ | 備 中 | 患者数 | 50 | ↑ |
| | 定点あたり | 10.06 | | | 定点あたり | 10.00 | |
| 岡山市 | 患者数 | 172 | ↑ | 備 北 | 患者数 | 19 | ↑ |
| | 定点あたり | 9.56 | | | 定点あたり | 4.75 | |
| 倉敷市 | 患者数 | 157 | ↑ | 真 庭 | 患者数 | 26 | ↑ |
| | 定点あたり | 13.08 | | | 定点あたり | 13.00 | |
| 備 前 | 患者数 | 43 | ↑ | 美 作 | 患者数 | 36 | ↑ |
| | 定点あたり | 10.75 | | | 定点あたり | 7.20 | |

【記号の説明】 前週からの推移
 ↑ : 大幅な増加 ↗ : 増加 → : ほぼ増減なし ↘ : 減少 ↓ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

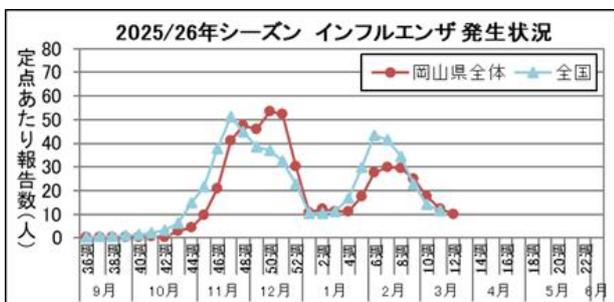
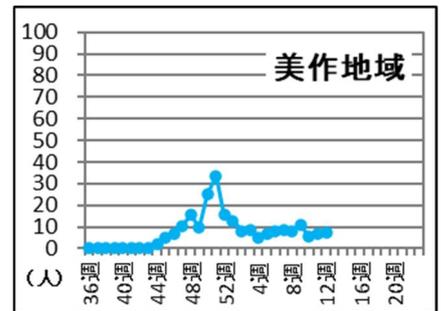
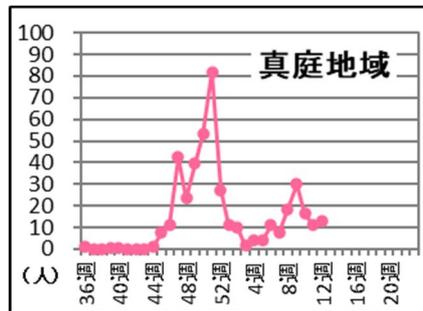
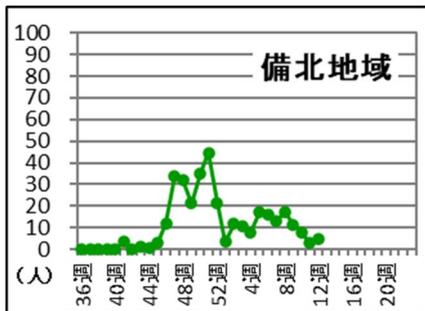
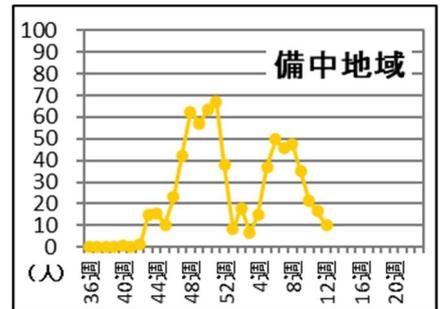
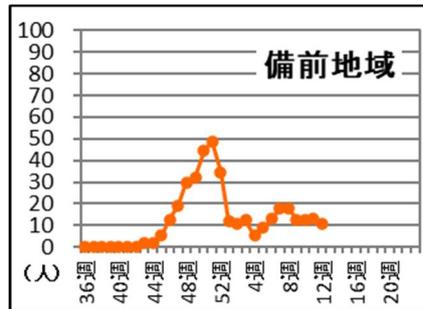
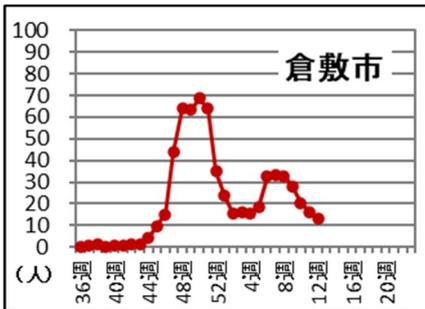
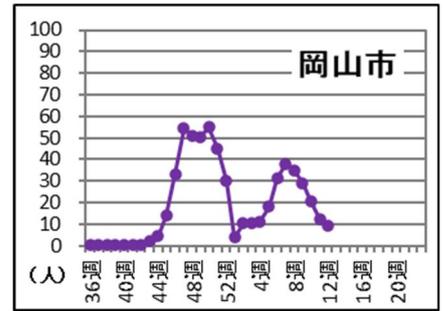
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

| レベル3 | | レベル2 |
|--------------|-------|----------------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 |
| 30 | 10 | 10 以上 30 未満 |
| レベル1 | | 報告なし |
| 基準値 | | 基準値 |
| 0 < 10 未満 | | 0 |

※数字は定点あたり報告数

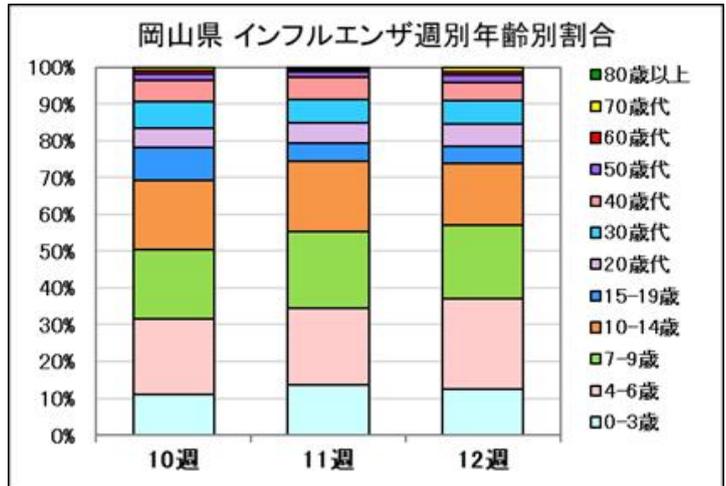
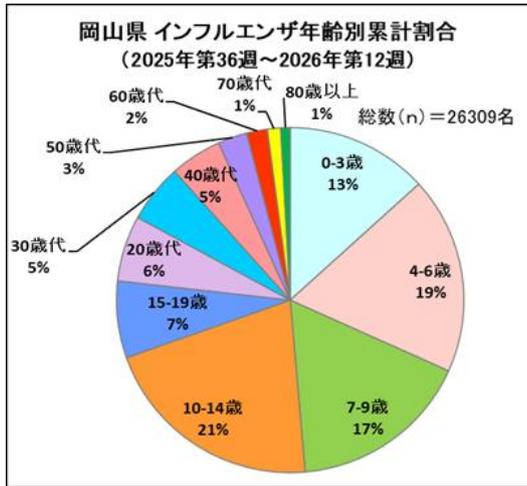


全国集計 2026 年第 11 週 (3/9~3/15) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は、11.66 人となりました。

都道府県別では、北海道 (24.13 人)、長野県 (23.52 人)、石川県 (21.36 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。43 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



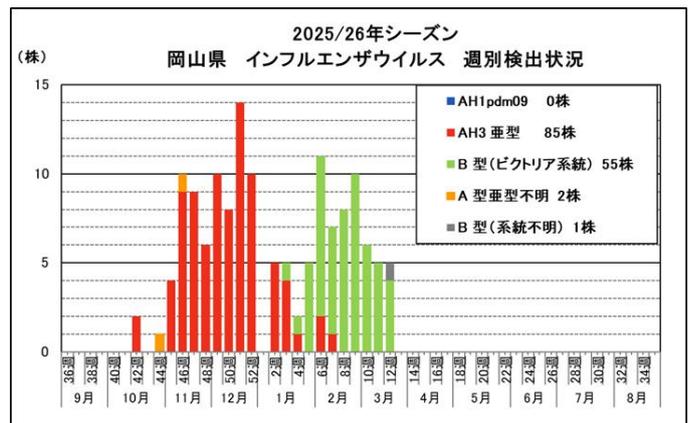
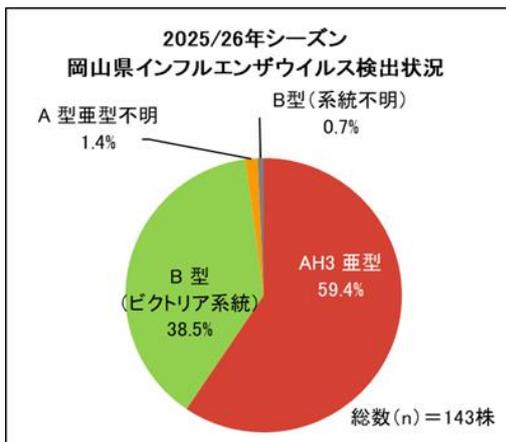
※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2026 年第 12 週に新たに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 10 株で、B 型（ビクトリア系統）が 9 株、B 型（系統不明）が 1 株でした。

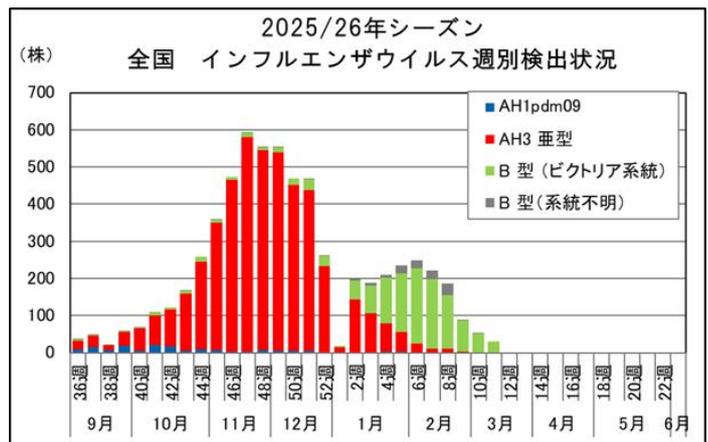
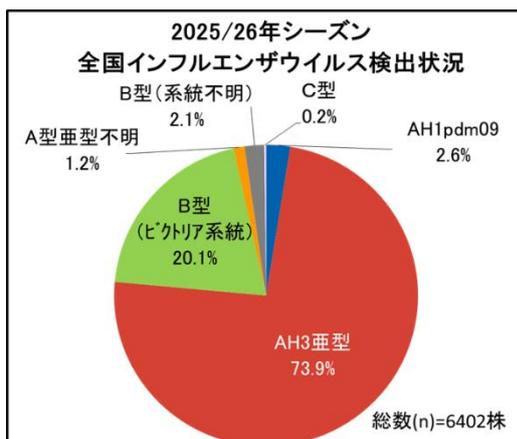
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 143 株で、AH3 亜型が 85 株、B 型（ビクトリア系統）が 55 株、A 型亜型不明が 2 株、B 型（系統不明）が 1 株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 164 株、AH3 亜型が 4, 730 株、B 型（ビクトリア系統）が 1, 288 株、A 型亜型不明が 75 株、B 型（系統不明）が 132 株、C 型が 13 株となっています（3 月 25 日現在）。

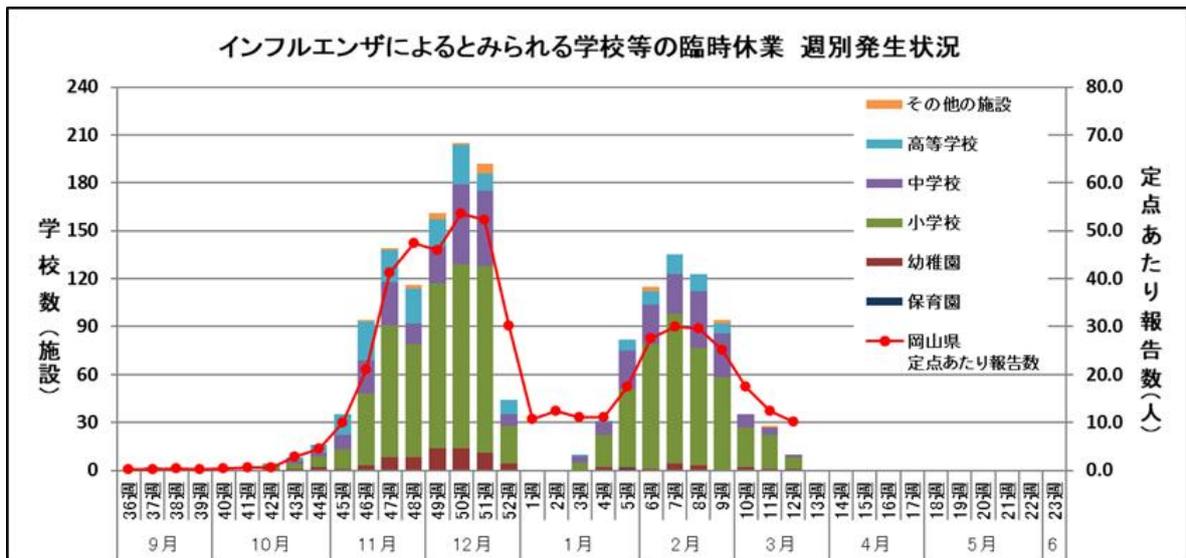
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、10施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

| | 保育園 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | その他 | 計 |
|------|-----|-----|-------|-----|------|-----|-------|
| 第12週 | 0 | 1 | 7 | 2 | 0 | 0 | 10 |
| 累計 | 1 | 82 | 1,015 | 365 | 196 | 21 | 1,680 |

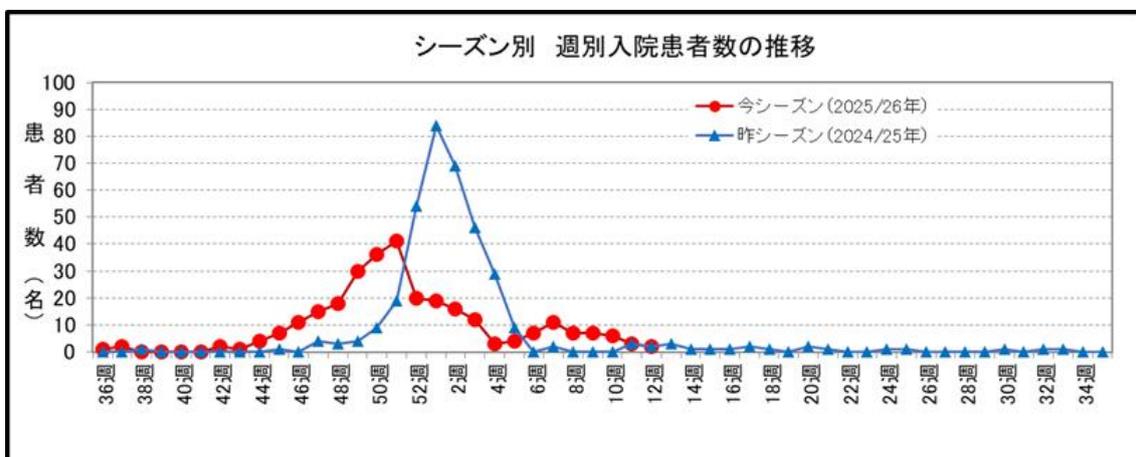
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第12週 入院患者報告数】

| 年齢 | 1歳未満 | 1～4歳 | 5～9歳 | 10～14歳 | 15～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 計* |
|---------------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 入院患者数 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | 2 |
| ICU入室* | | | | | | | | | | | | | |
| 人工呼吸器の利用* | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部CT検査(予定含)* | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部MRI検査(予定含)* | | | | | | | | | | | | | |
| 脳波検査(予定含)* | | | | | | | | | | | | | |
| いずれにも該当せず | | | 1 | | | | 1 | | | | | | 2 |

* 重複あり

【2025年9月1日(第36週)以降に入院した患者の累計数】

| 年齢 | 1歳未満 | 1～4歳 | 5～9歳 | 10～14歳 | 15～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 計* |
|---------------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 入院患者数 | 17 | 47 | 28 | 24 | 5 | 2 | 4 | 6 | 10 | 23 | 54 | 65 | 285 |
| ICU入室* | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 | 8 | 2 | 16 |
| 人工呼吸器の利用* | | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 9 |
| 頭部CT検査(予定含)* | | 1 | | 1 | | | | 2 | 1 | 5 | 10 | 8 | 28 |
| 頭部MRI検査(予定含)* | | 8 | 3 | 2 | | | | 1 | 1 | | 1 | 3 | 19 |
| 脳波検査(予定含)* | | 2 | | 2 | | | | | 1 | | | | 5 |
| いずれにも該当せず | 17 | 36 | 24 | 20 | 5 | 1 | 4 | 3 | 8 | 17 | 40 | 52 | 227 |

* 重複あり

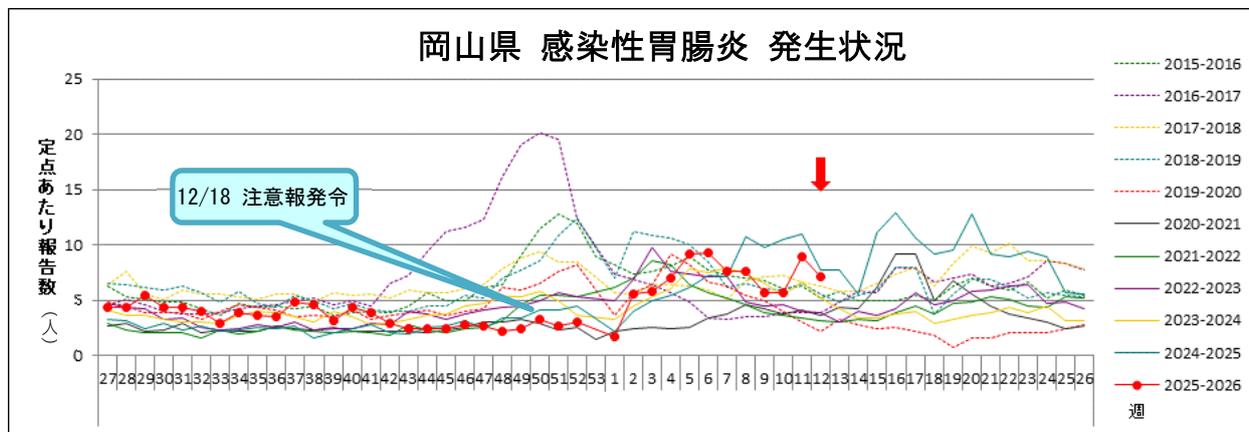
[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)
[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)

感染性胃腸炎週報 2026年 第12週 (3月16日～3月22日)

【お知らせ】 今シーズンの感染性胃腸炎週報は、今週(第12週)をもって終了いたします。

岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で198名(定点あたり7.07人)の報告がありました(28定点医療機関報告)。

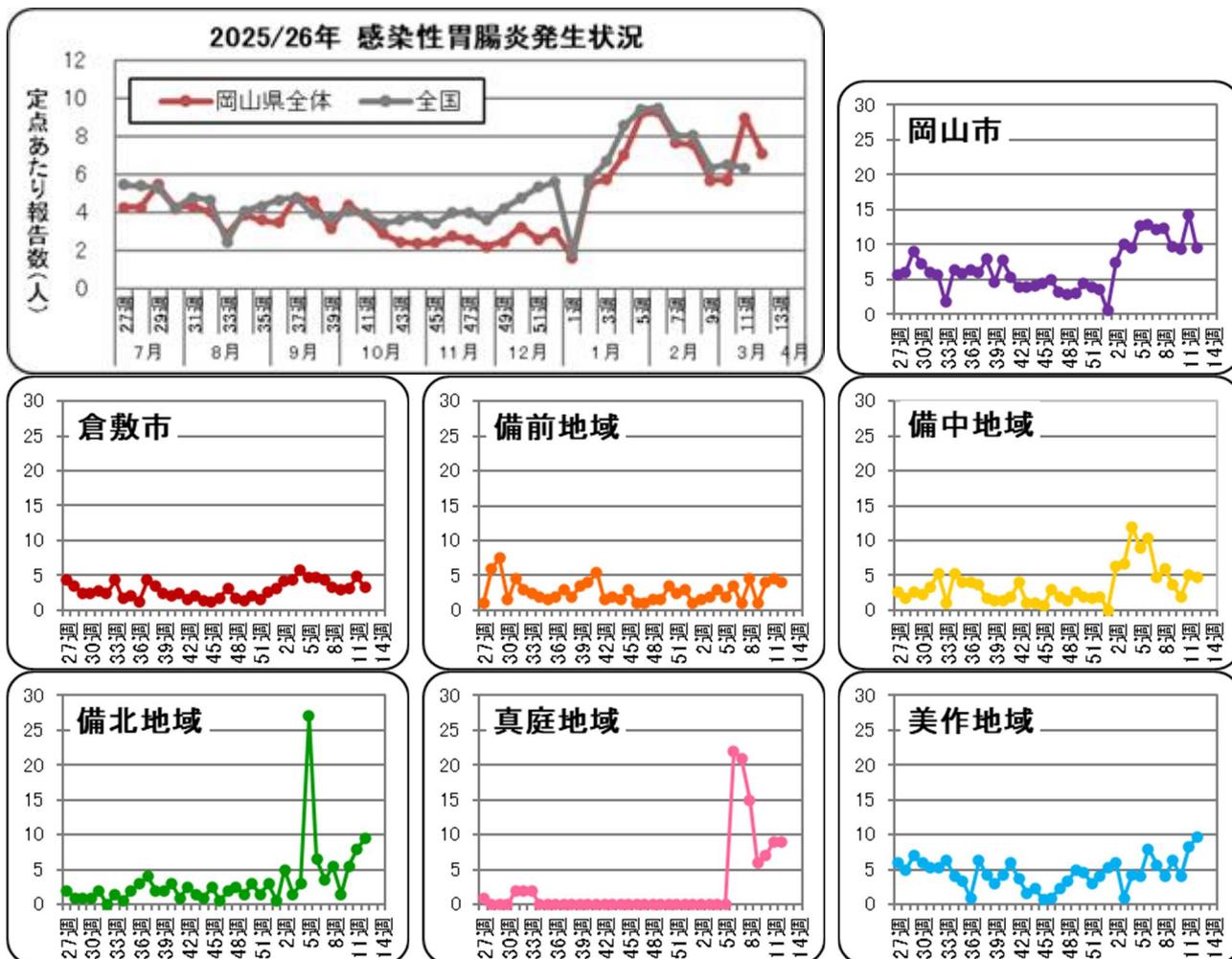


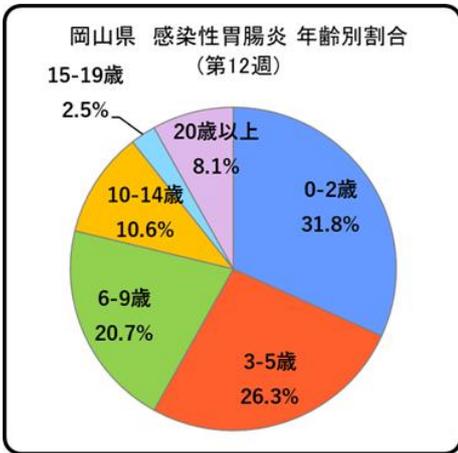
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年26週でグラフを作成しています。
 ※2025年第15週以降定点数が54医療機関から28医療機関になりました。

感染性胃腸炎は、県全体で198名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり8.96→7.07人)。

冬から春にかけての感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底、食品の十分な加熱、おう吐物・下痢便の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めましょう。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況

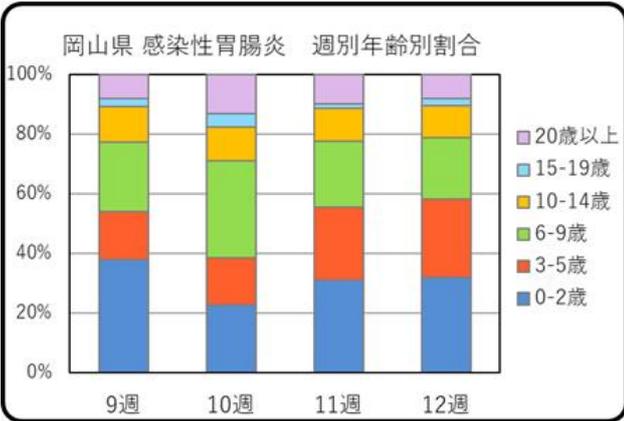




| レベル3 | | レベル2 | レベル1 | 報告なし |
|-------|-------|------|-----------|------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 | 基準値 | 基準値 |
| 20 | 12 | | 0 20未満 | 0 |

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。

※数字は定点あたり報告数



小児科定点（28 定点医療機関）からの報告によると、2026年第12週の年齢別割合では、0-2歳31.8%、3-5歳26.3%、6-9歳20.7%の順に多く報告されています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に 気をつけましょう ◆◆

< 予 防 方 法 >

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これらを処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。



※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

●ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）

◆ ロタウイルスにも気をつけましょう ◆

●ロタウイルス（厚生労働省）

ノロウイルスの電子顕微鏡写真
岡山県環境保健センターウイルス科 撮影



保健所別報告患者数 2026年 第12週(定点把握)

(2026/03/16～2026/03/22)

2026年3月26日

| 疾病名 | 全県 | | 岡山市 | | 倉敷市 | | 備前 | | 備中 | | 備北 | | 真庭 | | 美作 | |
|----------------|------|-------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 |
| インフルエンザ | 503 | 10.06 | 172 | 9.56 | 157 | 13.08 | 43 | 10.75 | 50 | 10.00 | 19 | 4.75 | 26 | 13.00 | 36 | 7.20 |
| COVID-19 | 28 | 0.56 | 3 | 0.17 | 6 | 0.50 | 8 | 2.00 | 3 | 0.60 | 4 | 1.00 | 1 | 0.50 | 3 | 0.60 |
| 急性呼吸器感染症 | 2613 | 52.26 | 1088 | 60.44 | 581 | 48.42 | 221 | 55.25 | 415 | 83.00 | 143 | 35.75 | 50 | 25.00 | 115 | 23.00 |
| RSウイルス感染症 | 30 | 1.07 | 6 | 0.60 | 15 | 2.14 | - | - | 6 | 2.00 | - | - | - | - | 3 | 1.00 |
| 咽頭結膜熱 | 2 | 0.07 | 1 | 0.10 | - | - | - | - | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 61 | 2.18 | 42 | 4.20 | 6 | 0.86 | 1 | 0.50 | 8 | 2.67 | 1 | 0.50 | 2 | 2.00 | 1 | 0.33 |
| 感染性胃腸炎 | 198 | 7.07 | 96 | 9.60 | 23 | 3.29 | 8 | 4.00 | 14 | 4.67 | 19 | 9.50 | 9 | 9.00 | 29 | 9.67 |
| 水痘 | 3 | 0.11 | 3 | 0.30 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 手足口病 | 9 | 0.32 | 8 | 0.80 | - | - | - | - | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| 伝染性紅斑 | 7 | 0.25 | 5 | 0.50 | - | - | 1 | 0.50 | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| 突発性発しん | 12 | 0.43 | 6 | 0.60 | 3 | 0.43 | - | - | 2 | 0.67 | - | - | - | - | 1 | 0.33 |
| ヘルパンギーナ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 流行性耳下腺炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 急性出血性結膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 流行性角結膜炎 | 2 | 0.17 | - | - | 1 | 0.25 | 1 | 1.00 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 細菌性髄膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 無菌性髄膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| マイコプラズマ肺炎 | 3 | 0.60 | 2 | 2.00 | 1 | 1.00 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| クラミジア肺炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 2 | 0.40 | - | - | 2 | 2.00 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2026年 第12週(発生レベル設定疾患)

(2026/03/16~2026/03/22)

2026年3月26日

| 疾病名 | 全県 | | 岡山市 | | 倉敷市 | | 備前 | | 備中 | | 備北 | | 真庭 | | 美作 | |
|---------------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|------|
| | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 |
| インフルエンザ | 503 | 10.06 | 172 | 9.56 | 157 | 13.08 | 43 | 10.75 | 50 | 10.00 | 19 | 4.75 | 26 | 13.00 | 36 | 7.20 |
| 咽頭結膜熱 | 2 | 0.07 | 1 | 0.10 | - | - | - | - | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 61 | 2.18 | 42 | 4.20 | 6 | 0.86 | 1 | 0.50 | 8 | 2.67 | 1 | 0.50 | 2 | 2.00 | 1 | 0.33 |
| 感染性胃腸炎 | 198 | 7.07 | 96 | 9.60 | 23 | 3.29 | 8 | 4.00 | 14 | 4.67 | 19 | 9.50 | 9 | 9.00 | 29 | 9.67 |
| 水痘 | 3 | 0.11 | 3 | 0.30 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 手足口病 | 9 | 0.32 | 8 | 0.80 | - | - | - | - | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| 伝染性紅斑 | 7 | 0.25 | 5 | 0.50 | - | - | 1 | 0.50 | 1 | 0.33 | - | - | - | - | - | - |
| ヘルパンギーナ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 流行性耳下腺炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 急性出血性結膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 流行性角結膜炎 | 2 | 0.17 | - | - | 1 | 0.25 | 1 | 1.00 | - | - | - | - | - | - | - | - |

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2026年 第12週 2026/03/16～2026/03/22)

| 疾病名 | 合計 | -6ヶ月-12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80～ | |
|----------|-----|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|---|
| インフルエンザ | 503 | 2 | 5 | 19 | 18 | 19 | 38 | 40 | 46 | 41 | 27 | 32 | 84 | 24 | 31 | 31 | 25 | 11 | 4 | 5 | 1 |
| COVID-19 | 28 | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 1 | 3 | 2 | 4 | 3 | 1 | 2 | 9 |

| 疾病名 | 合計 | 0歳 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80～ |
|----------|------|-----|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 急性呼吸器感染症 | 2613 | 243 | 1029 | 583 | 223 | 67 | 72 | 101 | 74 | 54 | 56 | 60 | 51 |

| 疾病名 | 合計 | -6ヶ月-12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20～ | |
|---------------|-----|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-----|----|
| RSウイルス感染症 | 30 | 4 | 3 | 12 | 5 | 3 | 1 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | |
| 咽頭結膜熱 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 61 | - | - | 1 | 1 | 6 | 10 | 5 | 6 | 4 | 4 | 7 | 15 | 2 | |
| 感染性胃腸炎 | 198 | 1 | 15 | 20 | 27 | 13 | 19 | 20 | 7 | 13 | 14 | 7 | 21 | 5 | 16 |
| 水痘 | 3 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | |
| 手足口病 | 9 | - | - | 5 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 伝染性紅斑 | 7 | - | - | 1 | - | 1 | - | 4 | - | 1 | - | - | - | - | |
| 突発性発しん | 12 | 1 | 2 | 6 | 1 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | |
| ヘルパンギーナ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 流行性耳下腺炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |

| 疾病名 | 合計 | -6ヶ月-12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70～ |
|----------|----|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 急性出血性結膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 流行性角結膜炎 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 |

| 疾病名 | 合計 | 0歳 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-24 | 25-29 | 30-34 | 35-39 | 40-44 | 45-49 | 50-54 | 55-59 | 60-64 | 65-69 | 70～ |
|----------------|----|----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 細菌性髄膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 無菌性髄膜炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| マイコプラズマ肺炎 | 3 | - | - | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| クラミジア肺炎 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 2 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

(- : 0)

保健所別

| 疾病名 | 全県 | | 岡山市 | | 倉敷市 | | 備前 | | 備中 | | 備北 | | 真庭 | | 美作 | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 | 報告数 | 定点当 |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | 2,613 | 52.26 | 1,088 | 60.44 | 581 | 48.42 | 221 | 55.25 | 415 | 83.00 | 143 | 35.75 | 50 | 25.00 | 115 | 23.00 |

(- : 0 or 0.00)

年齢別

| 疾病名 | 合計 | -12ヶ月 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80~ |
|----------------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | 2,613 | 243 | 1,029 | 583 | 223 | 67 | 72 | 101 | 74 | 54 | 56 | 60 | 51 |

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2026年 12週

| 分類 | 疾病名 | 2026 | | 2025 | 疾病名 | 2026 | | 2025 | 疾病名 | 2026 | | 2025 |
|---------|---------------------|------|----|----------|-----------------|------|----|------|--------------------|------|----|-------|
| | | 今週 | 累計 | 昨年 | | 今週 | 累計 | 昨年 | | 今週 | 累計 | 昨年 |
| 一類 | エボラ出血熱 | - | - | - | クリミア・コンゴ出血熱 | - | - | - | 痘そう | - | - | - |
| | 南米出血熱 | - | - | - | ペスト | - | - | - | マールブルグ病 | - | - | - |
| | ラッサ熱 | - | - | - | | | | | | | | |
| 二類 | 急性灰白髄炎 | - | - | - | 結核 | 3 | 47 | 237 | ジフテリア | - | - | - |
| | 重症急性呼吸器症候群 | - | - | - | 中東呼吸器症候群 | - | - | - | 鳥インフルエンザ(H5N1) | - | - | - |
| | 鳥インフルエンザ(H7N9) | - | - | - | | | | | | | | |
| 三類 | コレラ | - | - | - | 細菌性赤痢 | - | - | - | 腸管出血性大腸菌感染症 | - | 4 | 95 |
| | 腸チフス | - | - | - | パラチフス | - | - | - | | | | |
| 四類 | E型肝炎 | - | 2 | 4 | ウエストナイル熱 | - | - | - | A型肝炎 | - | - | 2 |
| | エキノコックス症 | - | - | - | エムポックス | - | - | - | 黄熱 | - | - | - |
| | オウム病 | - | - | - | オムスク出血熱 | - | - | - | 回帰熱 | - | - | - |
| | キャサヌル森林病 | - | - | - | Q熱 | - | - | - | 狂犬病 | - | - | - |
| | コクシジオイデス症 | - | - | - | ジカウイルス感染症 | - | - | - | 重症熱性血小板減少症候群 | - | - | 8 |
| | 腎症候性出血熱 | - | - | - | 西部ウマ脳炎 | - | - | - | ダニ媒介脳炎 | - | - | - |
| | 炭疽 | - | - | - | チクングニア熱 | - | - | - | つつが虫病 | - | - | - |
| | デング熱 | - | - | 1 | 東部ウマ脳炎 | - | - | - | 鳥インフルエンザ | - | - | - |
| | ニパウイルス感染症 | - | - | - | 日本紅斑熱 | - | - | 19 | 日本脳炎 | - | - | - |
| | ハンタウイルス肺症候群 | - | - | - | Bウイルス病 | - | - | - | 鼻疽 | - | - | - |
| | ブルセラ症 | - | - | - | ベネズエラウマ脳炎 | - | - | - | ヘンドラウイルス感染症 | - | - | - |
| | 発しんチフス | - | - | - | ボツリヌス症 | - | - | - | マラリア | - | - | - |
| | 野兔病 | - | - | - | ライム病 | - | - | - | リッサウイルス感染症 | - | - | - |
| | リフトバレー熱 | - | - | - | 類鼻疽 | - | - | - | レジオネラ症 | - | 9 | 58 |
| レプトスピラ症 | - | - | 1 | ロッキー山紅斑熱 | - | - | - | | | | | |
| 五類 | アメーバ赤痢 | - | 2 | 8 | ウイルス性肝炎 | - | - | 2 | カルバベネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | - | 3 | 20 |
| | 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) | - | - | 2 | 急性脳炎 | 1 | 3 | 14 | クリプトスポリジウム症 | - | - | - |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | - | - | 1 | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | - | 2 | 21 | 後天性免疫不全症候群 | - | 2 | 9 |
| | ジアルジア症 | - | - | - | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | - | 3 | 9 | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | - | - | 1 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | - | 13 | 55 | 水痘(入院例に限る。) | - | 1 | 6 | 先天性風しん症候群 | - | - | - |
| | 梅毒 | 2 | 38 | 253 | 播種性クリプトコックス症 | - | - | 3 | 破傷風 | - | - | - |
| | バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | - | - | - | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | - | - | - | 百日咳 | 1 | 33 | 2,148 |
| | 風しん | - | - | - | 麻しん | - | - | 5 | 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | - | - | - |

